

## ～国際化が進む教育現場～ 「言葉の壁をなくそうプロジェクト」 絵本寄贈

2021年1月21日、船橋東ロータリークラブでは「言葉の壁をなくそうプロジェクト」の追加策として市内の小学校へ2種類の絵本を寄贈致しました。

昨今、外国籍の方の交通マナーについて問題視されております。特に自転車の運転や道路の横断について船橋市内でも危険を感じる事が多々あります。もちろん、学校でも交通安全に対する授業は行われていますが外国籍や帰国子女の児童生徒に向けては十分理解されるまでには至らないと感じました。

そこで、船橋市内小学校へ絵本「妖怪交通安全」と「ふみきりくん」を各55冊寄贈致しました。この絵本を通じて先日寄贈したAI翻訳機を活用し、日本の交通ルールを楽しみながら学び、悲惨な交通事故を未然に防止する事ができるのでは？ と当クラブ会員の意見を基に、このプロジェクトの追加策として実施致しました。

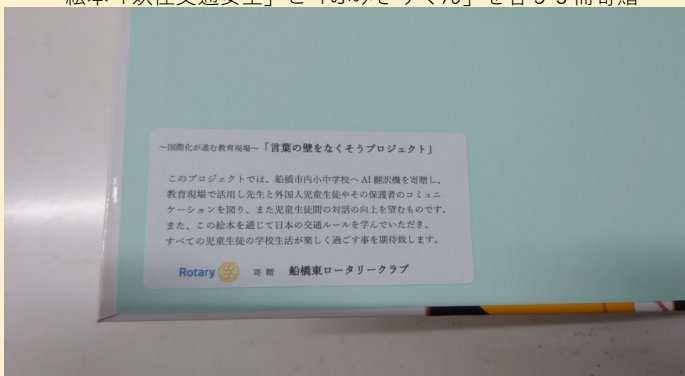
寄贈の当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、政府より緊急事態宣言が発令されていることから船橋市教育委員会 指導課へ絵本のお渡しをみの予定でしたが、業務多忙の中、松本文化教育長と磯野 護 学校教育部長、大野 等 指導課長にお時間を頂戴し直接絵本を手渡すことができました。

松本文化教育長からは、「AI翻訳機は学校現場の様々な場面で活用し大いに役立っている」とのご報告を頂き更に今回の絵本寄贈は、AI翻訳機で翻訳しながら理解を深めるという発想が素晴らしいとお褒め頂きました。「今回の絵本寄贈の目的をしっかりと各学校に伝え有効活用させて頂きます。」との事でした。

今回の当クラブの社会奉仕活動 ～国際化が進む教育現場～「言葉の壁をなくそうプロジェクト」が船橋市内の日本語が解らない児童生徒とその保護者のみなさまに「言葉の壁」をなくし、更に楽しく生活して頂ける一助になったと思います。改めて会員の皆様とこの事業に携わって頂きました皆様に深く感謝申し上げます。



絵本「妖怪交通安全」と「ふみきりくん」を各55冊寄贈



1冊1冊このプロジェクトのラベルを貼りました



松本文化教育長へ絵本をお渡ししました